

「地球の記憶」を未来にのこすため——

日本ジオパークネットワークの取り組み

45億歳を超える地球は、長い年月をかけて生命の誕生と進化に大きな影響をあたえてきました。その表面の地形や内部に眠る化石や岩石をていねいに観察すると「地球の記憶」ともいえる多くの物語、たとえば地球が過去に経験してきた環境の変化やその中を生きぬいてきた生命のたくましさを知ることができます。

今、地球上のさまざまな場所で貴重な地形の破壊や化石、岩石、鉱物のいきすぎた採掘や採集、持続可能性に配慮のない地質物品の売買が行われています。絶滅のおそれのある動植物の取引が規制されているように、「地球の記憶」に取り返しのない損失がおきないように私たちは地質遺産の保全を考えなければなりません。

ジオパークは、国際的または国内において価値が認められた地質遺産がある場所です。またジオパークはその遺産を保全し、そこから得られる物語と、そこで育まれた生態系や私たち人間の文化とのつながりを見つけ活用することで、地域と地球全体がともに持続可能な未来を歩めるよう行動する地域でもあります。

国内にあるすべてのジオパークが参加している日本ジオパークネットワークは、「地球の記憶」の権利に関する国際宣言（1991年、フランス、ディエヌ）およびユネスコ世界ジオパークの運営ガイドライン（2015年）にもとづいて、「地球の記憶」を未来に残すための責任ある行動として次の活動を行います。

- 国内のジオパーク地域および日本全国に向けて地質遺産保護の啓発を行います
- 化石や鉱物を使用した販売物に代わる商品や啓発アイテムを企画・製作します
- 代替性・持続可能性が確保されている商品や店舗を優良事例として紹介します
- 持続可能性に課題のある物品の販売中止に向けて最大限の努力をします



地球の記憶—— 地質遺産を まもる

「地球の記憶」を未来に残すために「わたし」にできること——



地質遺産

地球の記憶

— 45億年を超える地球の歴史と
そこに生きてきた生命の経験 —
を伝える貴重な遺産



地形

場所の履歴を伝える

地形からはその場所が経験した環境の変化がわかります。たとえば鍾乳洞。大昔は海の底でした。堆積したサンゴの化石などが隆起して陸になり、ゆっくり地下水に溶かされて洞窟になりました。



化石

環境のタイムカプセル

大昔の生き物やその痕跡が時間をかけて変化したものが化石です。さまざまな化石を調べると、これまで地球が経験した環境の変化と、その中で進化してきた生命の歴史を知ることができます。



岩石・鉱物

地球の活動を語る

岩石は細かい鉱物が集ってできています。つくられる条件によってさまざまな姿かたちになります。岩石や鉱物をよく調べると、つくられた環境や今の場所まで運ばれてきた旅のようすが分かります。

地質遺産に 起こっている問題

地形



化石



岩石・鉱物



破壊・損失



無秩序な
開発・採掘



過剰な
採集

世界各地で行われている無秩序な開発や採掘によって、地球の記憶——地質遺産の破壊が進んでいます。また化石や鉱物の過剰な採集や保護地域における盗掘も問題になっています。

ほかにも深刻な問題が



児童労働



事故や
健康被害



土壌・
水の汚染



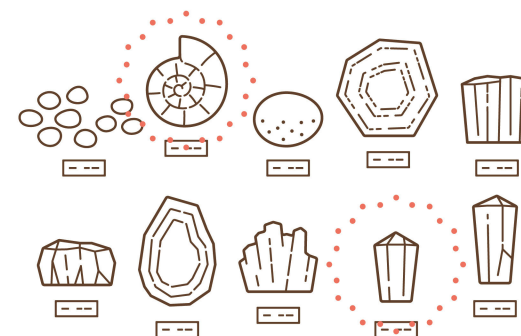
森林破壊

採掘現場が児童労働の温床になったり、多くの人が亡くなる事故や健康被害、土壌や水の汚染、森林破壊などの問題が世界各地で報告されています。さらには鉱山の利益が紛争の資金源になっているという悲しい例もあります。

知ること・考えること から始めよう

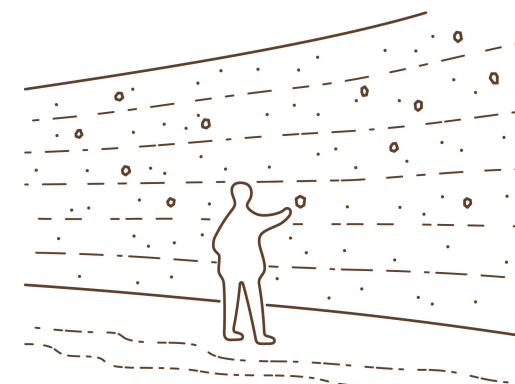
色や形が美しい化石、岩石、鉱物やその加工品を見るとつい欲しくなるものですが、採掘や採集にかかわり多くの問題（左ページ）が起きていることは、あまり知られていません。「地球の記憶」を守るために自分になにができるか、よく考えてみましょう。

✓ 販売物について



土産物店や専門店にならぶ化石、岩石、鉱物の原石や加工品には、過度な採掘や児童労働など問題のある商品が含まれている場合があります。お土産やコレクションのための気軽な購入はやめましょう。

✓ 採集について



化石、岩石、鉱物はその場所の記憶を伝える史料です。その場所の情報が大切です。安易に持ち去ることで価値は失われてしまいます。また希少なものは取りつくされないように守る必要があります。



教育・研究目的の
購入、採集

教育・研究目的であっても、購入する時に違法採掘や児童労働などの問題がないものかどうか確認が必要です。また国立公園などの保護区域で採集する場合には、管理者の許可（または届け出）が必要です。



宝石、貴金属業界の
取り組みについて

取り扱う企業や販売店によっては、紛争の資金源になっているなど倫理的問題のある原石や製品を、輸入・販売しないといった取り組みが行われています。